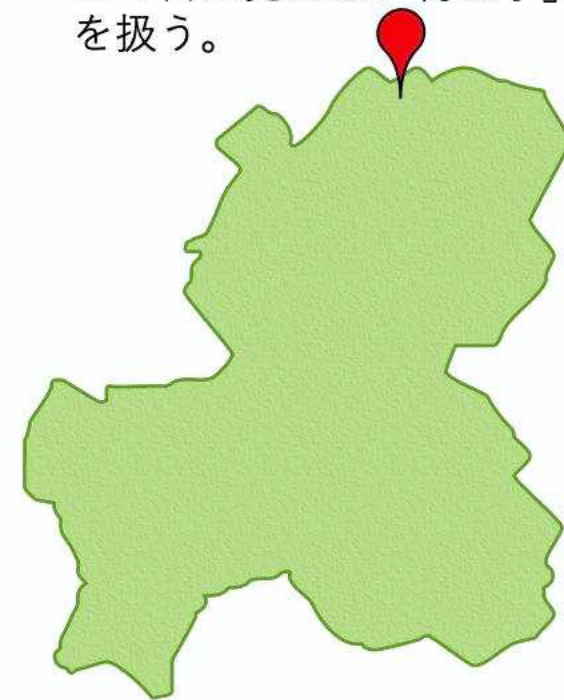


ひだ宇宙科学館 カミオカラボ



- 岐阜県飛騨市の道の駅内に2019年3月に開館。
- 企業版ふるさと納税を活用するなどし、市と大学の協働により設置。
- ニュートリノや重力波などの「目に見えない物理学」を扱う。



状況 初年度は13万人の入館者数と好調な滑り出し。1周年感謝祭の準備をしている最中でのコロナ禍突入。

今回の報告 開館特需による注目を維持・向上させる必要があったこと、また最先端基礎研究を地元で擁する地方科学館としての継続的な発信が求められる中、オンラインで行った取り組み内容と得られた効果を報告する。

四月

閉館中のスタッフリレーブログ

使用した
オンラインサービス


緊急事態宣言での閉館中（4/11-5/17）は全スタッフ（5名）の交代で毎日配信。
その後、週一回の配信に切り替え。

ねらい

休館中も、とにかく発信を継続する。

（配信内容の例）

- ・館の開館状況、イベント告知
- ・スタッフの自己紹介
- ・スタッフのプライベートでの体験
- ・最新の宇宙物理学研究の成果 など

Note公式がカミオカラボのページを文化施設でのnote活用例として紹介！

ひだ宇宙科学館 カミオカラボは、スタッフのリレーブログで施設の魅力を
紹介。オンラインツアーへの挑戦の様子もつづっています。

ひだ宇宙科学館 カミオカラボ | note

ひだ宇宙科学館 カミオカラボの公式noteページです。宇宙物理学
を始めとした科学の話題を配信しています。毎週木か金にスタ
note.com



文化施設は10月13日現在、note proを無料で導入できる。

効果

- ・それまでのブログはカミオカラボのHP内にあったが、飛騨市HPのサブサイトであるため階層が深くリーチにしにくかった。Noteに移行してから読者数が増加した。
- ・「スキ」をしてくれるユーザーのプロフィールがわかるので、ファンの属性が可視化された。
- ・休館中を乗り越えるための職員の連帯感につながった。

三月

YouTubeチャンネルオープン

ねらい

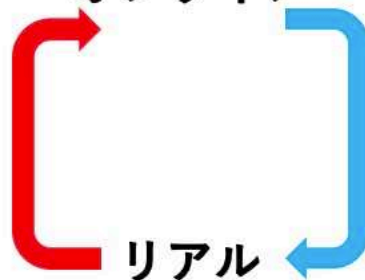
- ・コロナ禍でも楽しめる5分程度の短いコンテンツを届けたい。
- ・館に寄せられる質問に対するアーカイブを作りたい。

3月9日より毎週配信し、現在30本以上。登録者数550名。

使用した
オンラインサービス



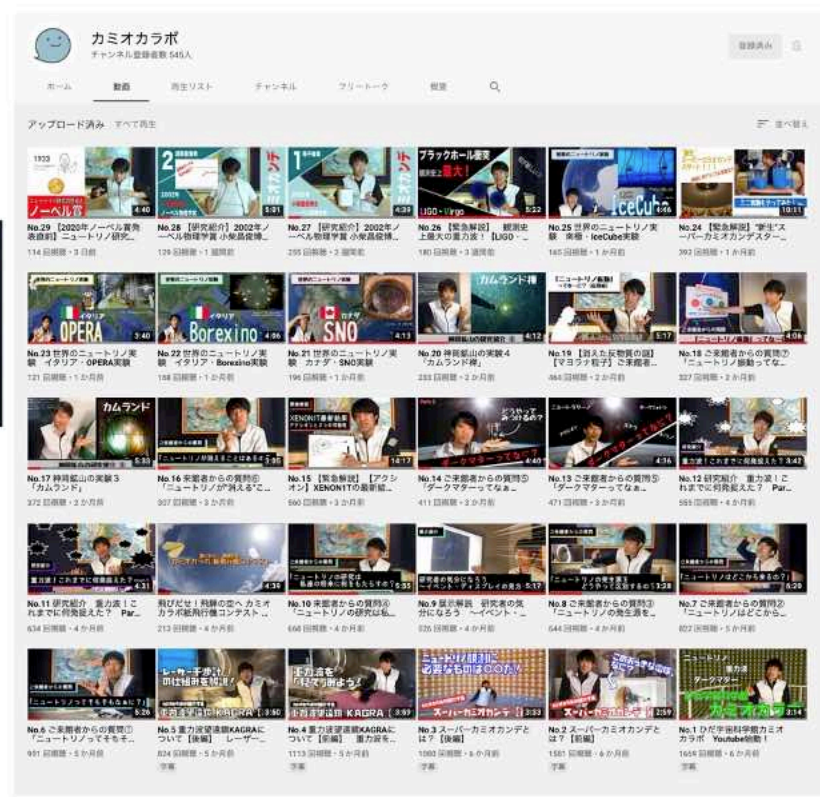

オンライン



リアル

効果

- ・来館時に「チャンネル登録してますよ」からコミュニケーションが展開。
- ・来館時にチャンネルの存在をご紹介することで特に興味強い来館者への受け皿となる。また、館に注目し続けてもらうことによりリアルやライブイベントへの導線ができる。



バーチャルカミオカラボ

きっかけ

- clusterとはcluster社が提供するバーチャルSNS構築環境。Unityでワールドを制作し、誰でも公開が可能。
- 2020年6月11日に簡単なギミックを実装できるシステムが公開されたことにより、ゲーム等を作ることが可能になった。
- 6月にはバーチャルな世界に渋谷の街を再現し、一部を現実世界にも再現する「バーチャル渋谷」のイベントが注目された。



再び緊急事態宣言が出て、開館し続けられる空間が欲しい。

ねらい1



「目に見えない物理」の体験展示は、リアル空間である必然性が低い？
バーチャルでも現象を納得することが可能？

ねらい2



水素を分解すると何と何に分けられる？



ふだん目に見えないニュートリノを全身でたっぷり浴びることもバーチャルなら可能。



ニュートリノが、水中の原子核に当たると光る様子も簡単に再現可能。

チャレンジ光?

今週の人気ゲームワールドはこちら！

バーチャルカミオカラボ 制作者:カミオカラボさん

宇宙物理学を伝える「ひだ宇宙科学館カミオカラボ」の公式仮想空間！
遊んで学べるゲームがたくさんあります！

博物館に行ったとき、展示ゲームでつい遊んじゃったことありませんか？
そんな体験をバーチャル空間でも！
ぜひ遊びにしてみてくださいね！

Cluster公式noteでも紹介→

🌟 得られた効果

- Cluster公式、共同通信社、地元新聞社等に紹介記事掲載。
- 今後はバーチャル空間でのクイズ大会等も開催予定。

オンラインで 記録を共有する紙飛行機コンテスト

実施方法

- 予選は自宅や学校で紙飛行機を制作し、飛行タイムと写真をメールかtwitterのオンライン上で集める（飛騨圏内に限定）。
- 募集終了時のコロナの収束状況を鑑み、可能な人数での決勝戦を三密を避けて行う。

ねらい1

三密を避けて自宅で楽しみながら、科学的な思考が求められるイベントをしたい。

ねらい2

「宇宙科学館」として、コロナ禍でも子どもたちに空を見上げることで広い世界を感じてほしい。



カミオカラボのYouTubeで募集告知



地元小学校を中心に28機の応募（岐阜放送から抜粋）



感染状況が落ち着きを見せた7月初め、対策を行った上で決勝戦を実施（岐阜放送から抜粋）



得られた効果

- 地元テレビ局、新聞社で取り上げられた。
- 参加したお子さんから次回開催の要望を頂くなど、来年度につながり得るイベントをウィズコロナの状況下においても開催することができた。

オンライン団体ツアー



ねらい1

従来より、平日に限り団体客向けのガイドツアーを行っていた。コロナ禍により、特に団体ツアーの復活の兆しが見えない状況で新しいサービスを提供したい。

2019年度実績 135団体 (3500名) → 2020年度実績 (6月時点) **0団体**

運用方法

まずは、来館者数が比較的少ない時間帯（月と金の朝夕）のみを対象として実施。

申込者の傾向

主婦（夫）仲間、シニア団体、学校団体など、いつものメンバーで何かを楽しみながら集まりたいという一定のニーズが見えてきた。

ねらい2

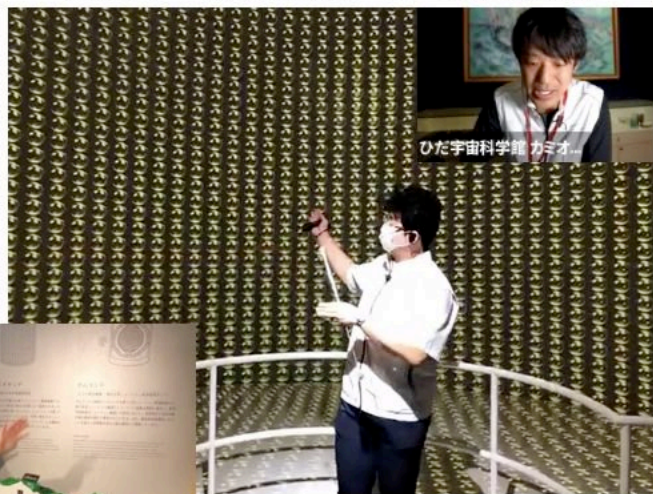
生徒一人一台のGIGAスクール構想を前に、ICT端末の活用先としての事例を作りたい。

小学校高学年から参加OK！

地域の宇宙少年団、遠方の私立中学校等から申し込み有り。

館内ツアーは本部とリポーターの2名で進行

車窓動画で旅としてのワクワク感を演出



模型等を使って解説



最後は「いつものメンバー」で。「ニュートリノポーズ」で集合写真！（京都市の私立中学校）



得られた効果

- ・他のオンラインコンテンツとの連携（例：ユーチューブで予習をお願いします）。
- ・館の新たなファン作りの手法としての可能性。
- ・アンケート回収率、記載量共に多いのでフィードバックが充実（家で書けるためか？）。
- ・道の駅で販売中の研究関連商品を購入したいとの声も。道の駅売店側との連携も進行中。

「自宅で楽しむ社会科見学」として講談社の「FRIDAY」でも取り上げられた→

